

# 東生研特別学習会

子どもたちの生活は、安全を脅かされ、管理教育の中に身を置き、もがいています。保護者は、新自由主義の下で格差社会に身をさらし、現代の貧困にあえいでいるのではないのでしょうか。しかし、どんなに厳しい状況に置かれようとも、私たちが子どもの発達に責任を負い、子どもたちの発達とともに喜びを見いだしていくことには、変わりはありません。東生研（全国生活指導研究協議会東京支部）では、2・11全体学習会で、佐藤洋作さんを講師にお呼びし私たちを取り巻くこの厳しい状況を見据え、未来を展望する視点を持ちたいと考えて、全体講演を企画しました。広い視野を持って、私たちを取り巻く貧困の状態を考えていくことにより、貧困を乗り越えていく展望を持ち、私たちの活動に少しでも活力が生まれてくればと思っています。そして、今回は、北村年子さんを講師にお呼びして、学習会を開催します。多くの仲間にも声をかけ、誘い合い、学習会に参加しましょう。

## 「いじめの連鎖を断ち、 学級が安心できる ホーム・ルームとなるために！」

講演者：北村年子さん

### プロフィール

ノンフィクションライター、自己尊重トレーニング・トレーナー。

「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」共同代表。1962年、滋賀県生まれ、京都府育ち。

文芸誌・女性誌の編集者を経てフリーランスとなり、ノンフィクションライターとなる。

20代女性の視点で、少女200人を取材したデビュー作『少女宣言』（長征社・1987）が話題を呼ぶ。以後、女性・子ども・教育・ジェンダーをおもなテーマに取材・執筆する一方、思春期電話相談員、ラジオDJとしても、子どもたちの悩みにむきあう。

近年は、みずからの育児体験をとおして、子育て・子育て支援のセミナー、虐待防止プログラム、子ども・親や教師・子育てにかかわる人びとの自尊感情（セルフ・エスティーム）を育てるための「自己尊重ワークショップ」も、精力的におこなっている。

2008年、「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」を発足し、09年教材用DVD映画「ホームレス」と出会う子どもたち」を制作。子どもたちを加害者にも被害者にもしないために、子どもの「いじめ」「自死」「野宿者襲撃」をなくしたいと願う大人のひとりとして、各地の学校や自治体の招きで人権尊重教育の講演、ホームレス問題の授業の実践にとりくんでいる。

### ●主な著書

- ・『「ホームレス」襲撃事件と子どもたち——いじめの連鎖を断つために』（太郎次郎社エディタス）
- ・『おかあさんがもっと自分を好きになる本——子育てがラクになる自己尊重トレーニング』（学陽書房）
- ・『子どもを認める「ほめ方・叱り方」——愛が伝わる幸せ子育て』（PHP研究所）※品切れ中
- ・『たった5つの冴えたやりかた』プリンセス・プリンセス・インタビュー集（タコミュージック）
- ・『少女宣言』（長征社）
- ・共著『生きることの発見——いま、若者たちに伝えたいこと①』（NPO法人アースタマタリ）
- ・共著『貧困社会ニッポンへ 釜ヶ崎からの発信』（アットワークス）・編著『現代のエスプリ 10代の言い分』（至文堂）
- ・共著『戸籍から「個籍」へ』（ゆじょんと）・共著『いじめ 今、親にできること』（木馬書館）
- ・解説執筆『ホームレス暴行死事件——少年たちはなぜ殺したのか』（吉田俊一著・新風舎）

日時：5月22日（土）午後2時～

場所：中野第五中学校

西武新宿線 新井薬師前駅 徒歩7分

参加費：500円（どなたでも自由に参加できます！）

連絡先：渡邊朗 03-3379-3102

| 番号 | 学校名       | 電話            | FAX           | 所在地                              |
|----|-----------|---------------|---------------|----------------------------------|
| 5  | 中野区立第五中学校 | 3389<br>-2341 | 3389<br>-2342 | 〒164-0002<br>東京都中野区上高田<br>4-28-1 |

